

鉾子「業務再開」白紙撤回を決定

日刊 動労千葉

81.1.28

No. 643

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄)二九三五六(公衆)三五七二七〇七

1/30 千葉地本「デッチ上げ」再建大会を「粉碎せよ」

全組合員のみなさん。

昨日(一月二七日)、「業務再開」の承認か、否かを支部全組合員に問うものとして開催された鉾子支部臨時大会は、「『十二・二三動労鉾子支部業務再開決定』は白紙に戻すべきである」との組合員からの緊急動議が提出され、それに賛同する意見が相次いで出され、満場一致の賛成をもって可決された。

全組合員のみなさん。

こうして鉾子支部は、動労「本部」反動分子がデッチ上げんとした「業務再開」Ⅱ「動労鉾子支部再建」なる虚構を、支部最高決議機関の大会の名において最後の断を下したのである。つまり、鉾子支部は、全組合員の総意をもって動労「本部」にはつかないと決定したのである。わが動労千葉一三〇〇名組合員は、当然ともいえるこの決定を心から歓迎する。

鉾子支部のみなさん。支部の統一と団結を守り、動労千葉とスクラムを組んで共に前進しよう。

「再建地本大会」の破産は鮮明

われわれは、「本部」反動分子が組合格約を無視しファッショの手口をもって残り少い「本部派」組合員をかきあつめてデッチ上げんとする鉾子支部をめぐる組織争闘戦の勝利を勝利として確信し、来る一・三〇千葉地本「再建」大会(第三四回定期大会)なる極反動攻撃を全力をあげて粉碎しなければならぬ。

所詮「本部」反動分子が「中野一味と悪質セクトの妨害を粉碎し『千葉地本再建』を実現することになった」などと空々しく全国に呼びかけてみても、「大会」は全くおそまつかつみじめなものに終ることは誰れの目にも明らかである。

それは「鉾子支部再建」なくして「地本再建」はできないとばかりに、「再建情報三七号」に「鉾子支部に続こう!」十二月二三日鉾子支部業務再開」と正直に本音を吐露したまではよいが、これも鉾子支部臨大決定で夢の彼方に消えさつてしまったではないか。

こうして危機に追いつめられた「本部」反動分子は、鉾子を見捨て、一部の裏切り分子と、「鉾子は本部派」だと信じこませた短期転勤者をかき

集めて「再建地本大会」を開催するというのがだ。

「八一・三」つぶしを唯一目的化した「再建地本大会」粉碎

「本部」反動分子が、組合員をこのようにひきまわし「再建地本大会」をデッチ上げようとする根拠はなにか。それは、「動労千葉解体Ⅱ八一・三闘争つぶし」のために他ならない。その為には、千葉県警に「大会」の警備を要請し、権力に守られて「再建地本」をデッチ上げようというのである。われわれは戦闘的労働運動とは無縁なかかる「本部」反動分子を断罪し、それに手を貸す佐倉・津田沼・新小岩の一握りの裏切り分子を徹底的に弾劾する。

1/30 再建地本「デッチ上げ」粉碎・81・3 ジェット 決戦勝利 青年部総決起集会へ

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!